

令和8年竹田市教育委員会第4回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和8年4月3日（金）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員
教育長 志賀 哲哉
1番委員（教育長職務代理者） 岡 茂樹
2番委員 佐藤 健吾
3番委員 進 みづほ
4番委員 吉野 聖子
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 廣瀬 恵三
学校教育課長 渡部公比古
社会教育課長 橋本 一彦
文化財課長 真田 博幸
歴史文化館長 櫛浦 幸徳
竹田市学校給食共同調理場長 藤原みどり
事務局員 教育総務課課長補佐 古澤 邦利
- 6 議事日程
(1) 会議録の承認 第3回定例会会議録、第1回臨時会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
(4) 報告事項
報告第4号 令和7年度竹田市教育費予算（3月補正）について
報告第5号 令和8年度竹田市教育費当初予算について
(5) 審査事項
(6) 協議事項
(1) 令和8年度小中学校入学式・幼稚園入園式について
(7) 連絡事項
(1) 4月幼・小・中行事予定表
(2) 4月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員会からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時00分]

- 廣瀬教育総務課長 委員の出席状況です。教育長及び教育委員4名が出席、傍聴者はありません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから令和8年第4回定例会を開会します。第3回定例会の会議録及び第1回臨時会会議録はすでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 廣瀬教育総務課長 教育長報告を行います。3月2日、教育委員会第3回定例会。3日、4日、市議会第1回定例会代表質問、一般質問。6日、中学校卒業式。9日、10日、議会本会議、予算特別委員会。11日、健康づくり推進協議会。13日、部活動検討委員会、第2回城原小学校統合検討委員会。14日、教養大学閉校式・生涯学習祭り。16日、女子バレーの九州大会出場報告。17日、議会最終日。18日、幼稚園卒園式、サフラン終業式、教育委員会第1回臨時会、歯科保健委員会。19日、小学校卒業式、臨時校長会議、定例課長会議。24日、久住学校給食共同調理場閉場式、第3回社会教育委員会。28日、宮城の里しだれ桜祭り。30日、退職者辞令交付式、竹田市スポーツ振興審議会。4月1日、教育長訓示、第1回校長・所長会議。2日、新採用者辞令交付式。3日、教育委員会第4回定例会、公益財団法人里見奨学会70周年記念式典です。以上でございます。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは次に移ります。本日の審議事項はありません。報告事項は2件です。報告第4号「令和7年度竹田市教育費予算(3月補正)について」です。はじめに各課から説明を行いすべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは教育総務課長をお願いします。
- 廣瀬教育総務課長 報告第4号、「令和7年度竹田市教育費予算(3月補正)について」、教育総務課分です。資料の2ページからとなります。3月補正予算の概要につきましては、第2回教育委員会定例会で予算要求の段階での概要説明をしたところです。今回、議決をいただいた内容は、その時のものと変更はありません。補正前の歳入予算額36,933千円、補正額213千円の増額補正により、補正後の歳入予算額37,146千円となりました。歳出につきましては、補正前436,494千円に対して、16,235千円の減額補正により補正後の予算額は420,259千円となっています。以上です。

志賀教育長

学校教育課長。

渡部学校教育課長

3 ページをご覧ください。

歳入についてはクラブ活動実証事業の補助金として、要求通りの額となっています。

続いて歳出では、補正要求額と異なる項目は、10 款 1 項 2 目、外国語指導助手招致事業費の費用弁償が 1 千円減額の 15,492 千円となっています。その他については要求通りに議決されました。

志賀教育長

社会教育課長。

橋本社会教育課長

4 ページをお開きください。生涯学習課、3 月補正の歳入、歳出について、主な内容をご説明申し上げます。

まず歳入についてですが 15 款 2 項 3 目の土木費国庫補助金ですが、丸福スタジアムラバーフェンス改修工事費減額に伴い 15,000 千円を減額しています。16 款 2 項 7 目の教育費県補助金については、学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業補助金対象経費の見直しを行った結果、34 千円の増額をしております。19 款 2 項 2 目の地方創生基金については、基金充当先精査により田能村竹田美術祭開催費への繰入金を減額しています。22 款 1 項 8 目教育債については、総合運動公園施設改修事業として実施している丸福スタジアムラバーフェンス改修費を 2 期に分けたことにより、18,600 千円の減額を行ったものです。歳出については、10 款 5 項 1 目及び 10 款 5 項 2 目について変更はありません。

5 ページをお開きください。10 款 5 項 3 目の、350 公民館（分館）管理運営費についてですが、2 月の第 2 回定例会において、旅費の費用弁償について、本来 250 千円の減額のところ 25 千円と誤った金額を説明しておりましたので、今回修正をお願いいたします。その他、10 款 5 項 13 目までは変更はございません。10 款 6 項 1 目の 396 保健体育総務費についてですが、その他負担金のツール・ド・九州開催周知資料作成等につきまして 294 千円を計上しておりましたが、商工観光課での計上となりましたので 0 円となっております。また、2 月の第 2 回定例会において、補正前の予算額を誤って 15,035 千円と説明しておりましたが、正しくは 10,534 千円でしたので訂正をお願いいたします。10 款 6 項 2 目、406 海洋センター運営管理費についてですが、その他負担金 10 千円の減額としていましたが、計上しないこととしました。生涯学習課分は以上です。

志賀教育長

真田文化財課長。

真田文化財課長

6 ページをお開きください。

まず歳入です。15 款 2 項 14 目、教育費国庫補助金を 1,363 千円の減です。これは、歳出の 10 款 5 項 11 目、市内遺跡発掘調査事業が 2,727 千円減になったため、事業費の 50 パーセントを減額するものです。16 款 2 項 7 目、教育費県補助金を 218 千円の減です。同じく市内遺跡発掘調査事業の減額 2,727 千円の 8 パーセントを減額するものです。16 款 3 項 7 目、教育費県委託金を 364 千円の減です。これは、歳出の 10 款 5 項 11 目、県営圃場整備関係発掘調査事業が 394 千円減額になったため、事業費の 92.5 パーセントを減額するものであります。続いて歳出です。全て事業費の確定による減額であります。全般的に会計年度

任用職員の報酬手当、共済費の減額です。主なものとして、10款5項10目、歴史的風致維持向上事業は、歴史的風致維持向上協議会の開催の必要がなかったため、委員報酬、旅費等の減額です。10款5項11目、市内遺跡発掘事業は、当初、会計年度任用職員2名体制で事業を進める予定でしたが、国の予算が1名分しか確保できなかったため、1名体制で事業を進め、今回報酬手当等を減額するものです。以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館長。

櫛浦歴史文化館長

歴史文化館です。7ページをご覧ください。事業費確定による減額が主なものです。歳入はございません。

歳出です。主なものとして、10款5項8目、旧竹田荘管理費の補助金については、田能村竹田顕彰会によるお茶会が開催されなかったため減額するものです。なお、例年通り墓前祭と献茶式は開催されております。10款5項12目、歴史文化館運営管理費は、歴史文化館協議会を1回しか開催する必要がなかったため、また、東京在住の委員が、他の会議と併せ出席できたため、報酬・旅費を減額するものです。特別展示事業費の委託料については、特別展示の作品の運搬の回数と量が当初の予定よりも少なく済んだため減額するものです。以上です。

志賀教育長

藤原給食調理場長。

藤原給食調理場長

学校給食調理場です。資料の8ページをご覧ください。

令和7年度一般会計補正予算（3月補正）についてご説明いたします。

歳入につきましては、2,028千円を減額し、歳入総額を69,076千円とするものです。歳出につきましては、10,238千円を減額し、歳出総額を277,885千円とするものです。なお、内容につきましては、2月の定例会でご説明した内容から変更はございません。以上です

志賀教育長

それでは図書館について教育総務課長。

廣瀬教育総務課長
(図書館)

資料の9ページとなります。図書館につきましても第2回定例会でご説明した内容と変更はありません。

歳出、補正前予算額54,649千円に対して、1,107千円の減額補正で、補正後の予算額は53,542千円となります。

志賀教育長

全体通して質疑等はありませんか。

ないようですので、報告第4号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

承認されました。次に、報告第5号「令和8年度竹田市教育費当初予算について」、初めに各課から説明を行い、すべてが終了した後に質疑を受けたいと思います。それでは教育総務課長、お願いします。

廣瀬教育総務課長

報告第5号「令和8年度竹田市教育費予算（当初予算）について」、教育総務課です。はじめに3月補正予算と同様に、令和8年度の当初予算につきましては

市議会 3 月定例会で議決をいただいたところですが、その概要については、1 月の第 1 回教育委員会定例会で、予算要求の段階で一度、教育委員の皆さんにはご説明しています。その後、財政課の査定や追加の要求があればその点などで増減が行われ予算案として議会に提出され議決を受けています。このため主要な事業で変更のあった部分について中心にご説明します。2 ページ、歳入については雑入に若干の調整があったのみで大きな変更はありません。歳出 2 ページの基金費、教育委員会諸費、教育委員会事務局費、学校支援センター管理費、教職員宿舍管理費については、前回説明した内容から変更はありません。3 ページの小学校管理諸費については、政策的な事業として 1 点変更があります。竹田小学校の増築工事を予算要求段階では 133,000 千円として要求していましたが、精査の結果、110,000 千円で足りるということで調整しています。そのほか修繕料を 9,000 千円要求していましたが 6,000 千円と減額になっています。続いてスクールバス運行費、小学校管理諸費（学校支援センター）、中学校管理諸費については大きな変更はございません。4 ページのスクールバス運行費、中学校管理諸費（学校支援センター）についても大きな変更はありません。幼稚園管理費、文化施設災害復旧事業費については前回説明のものと変更はありません。以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

5 ページをお願いします。

歳入について、15 款 2 項 4 目、幼保小の架け橋プログラム促進事業が倍増となっています。また、16 款 2 項 7 目では、念願だった登校支援員活用事業によって小学校に 1 名分の増額となっています。

続いて歳出の主な部分は、10 款 1 項 2 目、特別支援教育総合推進事業および幼保小の架け橋プログラム事業では作業療法士や臨床心理士の派遣回数を増やすために増額しています。同じく教育委員会事務局費は昨年全中の大会がありましたので本年度は減額できています。デジタル教育環境向上事業は教育総務課へ移管しました。10 款 3 項 2 目では、中学校教育振興諸費で教科書採択の費用がなくなりましたので、減額となっています。最後に 10 款 4 項 2 目幼稚園教育振興諸費は一時預かりの委託料を増額しております。

志賀教育長

社会教育課長。

橋本社会教育課長

7 ページをお開きください。社会教育課の令和 8 年度当初予算の歳入、歳出について、主な変更内容についてご説明申し上げます。

まずは歳入でございます。14 款 1 項 6 目の教育使用料として 6,697 千円計上しております。久住公民館使用料 400 千円、公民館地区分館使用料 600 千円、城下町文化施設等共通券の歳入はないということで 0 円の計上となっております。16 款 2 項 7 目教育費補助金として「協育」ネットワーク促進事業補助金放課後子ども教室として 3,134 千円、学校との連携・協働による「地域教育力」向上事業 218 千円の計 3,352 千円を計上しています。17 款 1 項 1 目の財産貸付収入ですが、新年度に精査して計上することとし、今回は計上しておりません。歳入総額は合計 55,031 千円を見込んでおります。

続きまして歳出です。10 款 5 項 1 目、337 社会教育総務諸費ですが、竹田市 PTA 連合会 200 千円他、各種団体への補助金等、計 1,824 千円を計上していま

す。341 二十歳の集い実施事業費について内容に変更は有りませんが、本年度の計上額は計 378 千円、昨年度当初予算額は 257 千円です。343 竹田市民教養大学実施事業費は、講師等謝礼が 100 千円で、本年度の計上額は計 199 千円です。8 ページをお開きください。899 放課後子ども教室推進事業費は、コーディネーター等謝金 3,646 千円、本年度の計上額は計 4,862 千円です。1534 学校との連携・協働による「地域教育力」向上事業は、コーディネーター等謝金 261 千円、本年度の計上額は計 327 千円です。続いて、10 款 5 項 2 目、345 人権・部落差別解消教育諸費です。会計年度任用職員報酬（社会教育指導員 2 人）3,390 千円、本年度の計上額は計 6,746 千円です。348 集会所教養講座実施事業費は、集会所教養講座講師謝金・費用弁償等 60 千円、本年度当初予算額の変更はありませんが、昨年度の当初予算額は 202 千円です。次に 10 款 5 項 3 目です。350 公民館（分館）管理運営費です。内容に変更はありませんが、今年度予算計上額は 33,769 千円、前年度当初予算額は 47,030 千円です。354 公民館運営事業費（荻支所）ですが、光熱水費が 1,978 千円、施設等清掃委託料 787 千円、定期検査委託料を精査した結果、特殊建築物定期調査業務委託（3 年に 1 回）が 495 千円、建築設備定期検査委託（毎年実施）682 千円の計上を行ない、今年度予算計上額は 14,444 千円、前年度当初予算額は 12,775 千円です。356 公民館運営事業費（久住支所）ですが、燃料費が 1,386 千円、定期検査委託料を精査した結果、建築設備定期検査委託（毎年実施）682 千円の計上を行ない、今年度計上額は 23,049 千円、前年度当初予算額は 20,582 千円です。357 公民館運営事業費（直入支所）ですが、光熱水費が 2,040 千円、定期検査委託料を精査した結果、建築設備定期検査委託（毎年実施）660 千円の計上を行ない、今年度予算計上額は 15,734 千円、前年度当初予算額は 14,009 千円です。10 款 5 項 4 目、363) 田能村竹田美術祭開催費ですが、記念品・審査員謝礼として 509 千円、本年度の計上額は、1,129 千円です。10 款 5 項 5 目、364 瀧廉太郎記念音楽祭開催費ですが、瀧廉太郎記念音楽祭実行委員会補助金 4,500 千円を計上し、797 くじゅうサンホール自主事業費については、内容に変更はございませんが、今年度計上額を誤って報告しておりました。正確には 663 千円です。9 ページをお開きください 10 款 5 項 13 目ですが、393 佐藤義美記念館運営管理費は、運営管理委託料 3,721 千円、エレベーター機能維持（修繕料）は 0 円で、今年度計上額は 5,814 千円、前年度当初予算額は 4,852 千円です。394 あ祖母学舎運営管理費ですが、給水盤改修修繕が 300 千円、今年度計上額は 5,969 千円、前年度当初予算額は 17,705 千円です。395 簡易宿泊所管理運営費ですが、管理人報酬 1,248 千円、光熱水費 1,500 千円、施設等清掃委託料 621 千円で、本年度当初予算計上額は 6,620 千円です。次に 10 款 6 項 1 目、396 保健体育総務諸費です。内容について変更はありませんが、本年度当初予算計上額は 14,413 千円で、前年度当初予算額は 13,626 千円です。次に 10 款 6 項 2 目、397 総合運動公園運営管理費ですが、修繕料を 1,100 千円、除草伐採等作業委託料 1,320 千円、ワンタッチテント天幕他備品購入費 1,336 千円を計上し、本年度当初予算計上額は 77,445 千円です。前年度当初予算額は 91,176 千円です。405 体育施設管理費（荻支所分）についてですが、荻小学校グラウンド周辺草刈委託 442 千円を計上し、本年度当初予算計上額は 1,696 千円に変更はありませんが、前年度当初予算額は 1,665 千円です。社会教育課からは以上です。

志賀教育長

真田文化財課長。

真田文化財課長

10 ページをご覧ください。

歳入は、基本は昨年度要求額と同等の内容で計上しています。

14 款 1 項 6 目、教育使用料の岡城観覧料は、例年通り 20,000 千円計上しています。観覧料収入として大人 6 万人、団体 1 万人です。15 款 2 項 4 目、教育費国庫補助金は事業費の 50 パーセントで計上しています。16 款 2 項 7 目、教育費県補助金は事業費の 8 パーセント、文化財保存修理費については事業費の 50 パーセントで計上しています。16 款 3 項 7 目、教育費県委託金は、新たな圃場整備の本調査の委託料です。今年は 30,043 千円予算化しており、事業費の 92.5 パーセントを委託料として受け込む計画です。21 款 4 項 4 目、教育費受託事業収入は、大分銀行竹田支店立替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業費 7,820 千円の同額を受け込む計画です。21 款 5 項 1 目、雑入は御城印等販売料として 2,000 千円、設備使用料として 400 千円見込んでいます。

続いて歳出です。11 ページをお開きください。

10 款 5 項 8 目、文化財保護事業諸費について、前年度より増の主な内訳は、県指定史跡長湯線刻摩崖仏覆屋建替工事補助金 11,961 千円です。御客屋敷管理費については、指定管理料 570 千円、夜間警備委託料 230 千円です。文化財管理センター運営管理費については、昨年同様です。おたまや公園維持管理費については、公園管理・浄化槽管理・支障木伐採等業務委託料に 719 千円、光熱水費 84 千円です。文化財保存活用地域計画事業は、昨年同様で、現地調査報酬や、パンフレット・教材の印刷などです。10 款 5 項 9 目、岡城跡管理事業費は、主なものとして、パンフレット等印刷代 3,900 千円、除草伐採・剪定等環境整備委託料 25,919 千円、説明板設置工事 300 千円などです。また、岡城跡プロモーション関係委託料として 2,000 千円です。岡城跡保存整備事業費は、委託料 6,654 千円、急崖部落石破砕除去工事請負費 14,539 千円と鐘櫓跡保存修理工事に 5,988 千円です。収入の部で申し上げたとおり 50 パーセントが国庫補助金、8 パーセントが県補助金として入る計画です。10 款 5 項 11 目、城下町遺跡群埋蔵文化財発掘調査事業は、大分銀行竹田支店立替工事に伴うものです。歳入の部でも申し上げましたが、事業費 7,820 千円の同額を原因者負担で受け込みます。市内遺跡発掘調査事業は、基本例年通りの考え方です。試掘箇所は、圃場整備予定の、荻地区、松本地区、長湯地区などと個人住宅等です。50 パーセントが国庫補助金、8 パーセントが県補助金として入る計画です。県営圃場整備関係発掘調査事業は、桑木、岩瀬、宮平、高練木の発掘調査・整理作業として発掘業務委託料 11,348 千円と発掘整理作業の会計年度任用職員報酬 8,444 千円が主体です。事業費 30,043 千円の 92.5 パーセントが県委託金として入る計画です。以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館長。

櫛浦歴史文化館長

12 ページをご覧ください。

歳入につきましては、14 款 1 項 6 目、教育使用料として、歴史文化館と旧竹田荘の観覧料や市民ギャラリーの使用料等を計上しております。約 1 万人の入館を想定して積み上げさせていただきました。21 款 5 項 1 目、物品売払収入につきましては図録やグッズ等の売り払いです。合計として、昨年度と同額の 2,480 千円となっております。

続いて歳出です。10 款 5 項 8 目、旧竹田荘管理費は、管理・受付担当の会計年度任用職員の報酬や夜間警備等の委託等で、7,609 千円を計上しております。10

款 5 項 12 目、歴史文化館運営管理費は事務担当の会計年度任用職員の報酬や光熱水費、施設関係の警備や収蔵庫の燻蒸等の委託等で、19,567 千円を計上しております。歴史文化館学芸費は、学芸担当の会計年度任用職員の報酬や歴史資料等の修繕費、歴史資料等の購入費等で 19,733 千円を計上しております。特別展示事業費は、令和 8 年度が由学館開校 250 年にあたり企画展を計画しております。その他南画展を含め計 6 回の企画展を計画しておりますので、展示品の輸送業務委託料や図録等の印刷製本費等を積み上げて 7,074 千円を計上しております。アーカイブス・講座事業費は、古文書等貴重資料のデジタル化のための事業費を積み上げて、昨年と同額 1,996 千円を計上したところです。合計として、55,979 千円となっております。以上です

志賀教育長

藤原給食調理場長。

藤原給食調理場長

学校給食調理場です。資料の 13 ページをご覧ください。
令和 8 年度当初予算についてご説明いたします。まず歳入です。給食費負担金は、764 名分で 4,415 万 9 千円を見込んでおり、昨年度比 2,744 万 5 千円の減となっております。これは、小学校児童 603 名分の給食費が国の支援により無償化されること、及び教職員給食費の増額改定によるものです。また、過年度の滞納繰越分については、50 万円以上の回収を目標としております。次に補助金関係です。総務費国庫補助金として 8,737 千円を計上しており、このうち 3,400 千円は配送車更新に係る補助金、5,337 千円は物価高騰対策によるものです。教育費県負担金として 2,658 千円、冷蔵庫更新に係る補助金として 4,400 千円、小学校給食費無償化に係る交付金として 34,491 千円を計上しております。これらに雑入を含め、歳入総額は 94,550 千円で、昨年度比 19,461 千円の増となっております。次に歳出です。久住学校給食共同調理場は統合により予算計上はございません。学校給食中央調理場運営費は 263,632 千円で、前年度比 18,463 千円の増です。主な要因として、久住学校給食共同調理場は統合により、給食数増加による賄材料費約 11,620 千円の増となっております。また、空調設備更新工事 28,930 千円、冷蔵庫更新 16,645 千円を新規計上しております。歳出総額は 263,632 千円で、昨年度比 1,769 千円の減となっております。以上です。

志賀教育長

図書館について廣瀬教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

図書館につきましても、第 1 回の教育委員会定例会でご説明をした、要求段階での内容と基本的に変更はありません。
歳入につきましては、使用、コピー料や、自動販売機の手数料等々の雑入が 45 千円ということです。
また、歳出については、図書館管理費と、読書推進啓発事業ということですがけれども、今年若干増えておりますのは、人件費であったり修繕料のところの、エレベーターの巻き上げロープの交換が発生をしているということで事業費が上がっているという状況であります。以上でございます。

志賀教育長

全体を通して質疑等はありませんか。
岡委員お願いします。

岡委員

学校教育課の方でちょっと確認です。オンライン英会話教室は、確か 2 年通し

てやるということだったと思うんですが、その場合、予算というのは、9月補正で中学校教育振興諸費としてまた新たに組まれるのか。当初の予算だと、どこに入っているのかというのが1点です。それから先日、総合教育会議でも出されました先生方の働き方改革の中で、保護者の方等からの過剰な苦情や不当な要求に対する相談窓口の設置の取り組みということが挙げられてるんですけど、その進め方の確認なんですが、一応令和8年度中にどういう内容にするかというのを決定して、予算化をして、来年度に正式に予算化実施という流れになるのかというのをちょっと確認したいです。

志賀教育長

学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。まず2点目の窓口設置については、今、岡委員が言われた通りのスケジュールを頭に入れております。1点目のオンラインの寄付金の利用については、ちょっと調べます。

志賀教育長

では、後程ということをお願いします。

その他、ないでしょうか。

では、英語のオンラインについてのところは、後程ということでもその他の部分で他にないでしょうか。

佐藤委員どうぞ。

佐藤委員

文化財課に質問です。10款5項9目の岡城跡のプロモーション関係とあるんですけども、どういったプロモーションをお考えなのか、それと、あとは、そのターゲットはどの辺の方だとか、そういうのがもしわかれば、教えていただきたいです。

志賀教育長

文化財課長。

真田文化財課長

はい。お答えいたします。まず、岡城の入場者数の話からちょっとさせてください。ピーク時に15万人ぐらい来ていたんですけど、令和6年度が49,500人。令和7年度、若干増え51,000人となっています。最盛期に比べると、3分の1ぐらいに来訪者の数が減っております。文化財課としても、ホームページとか、InstagramなどのSNSとかを活用して情報発信を行って言いますが、InstagramなどのSNSによる情報発信は発信するだけでは、なかなか効果は出てきません。見てもらわないと、フォロワー数とかが増えていかないけん部分が見受けられていた。要するに、見てもらわないとフォロワー数は増えず、来訪者増にはつながってきません。今回、市の機構改革で観光プロモーション課が新設されました。観光プロモーション課と連携して、まず外に、広く岡城を知らしめていく必要があると考えています。

今回の岡城プロモーションでは、まず動画の制作を行います。動画といいましても、そんな長いものではなくて、1分、2分程度で、岡城の魅力を効果的な伝えられる様なものの制作を考えています。それと、外国人の方にも見てもらえるような、そういった動画の作成を行います。つぎに、外国人向けのパンフレットについてです。現在、英語版とか中国語版とか一応はあるのですが、日本語のパンフレットを外国語訳したものであり、外国人にとっては魅力的な内容になっていません。新たに作るパンフレットは、外国人の興味を引く、外国人

	目線でのパンフレットの作成を考えています。以上です。
志賀教育長	よろしいでしょうか。
佐藤委員	はい。
志賀教育長	その他ないでしょうか。
渡部学校教育課長	はい。おそらく、10款3項2目の329 中学校教育振興諸費の中で、運用していくと思われます。ちなみに、昨年度の事業については、総人数 132 人。補助が入る 1 年前が、113 人でしたので、19 人の増ということになっています。ただし、残念なことに、受けた方全員が補助の申請を行っていない状況もありましたので英検の補助については、この辺は徹底していきたいと思います。英検の補助とあわせて、中学校教育振興諸費の中で、オンラインの方も運用していきたいと思います。
志賀教育長	はい、振興諸費の中でという回答ですがよろしいでしょうか。
岡委員	はい。
志賀教育長	その他、ないでしょうか。 ないようですので、報告 5 号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に、協議事項です。教育総務課長説明をお願いします。
廣瀬教育総務課長	協議事項です。令和 8 年度小中学校入学式・幼稚園入園式についてということです。令和 7 年度の小中学校の卒業式、幼稚園の卒園式につきましては、市長、副市長、教育長、教育委員の皆さん、教育委員会の各課長、それぞれ手分けをして出席をいただいたところです。ありがとうございました。本日は、令和 8 年度の入学式、入園式の日程、分担について別紙のとおり配布しております。それぞれご確認をいただきたいと思います。変更点は、4 月 10 日の竹田小学校につきましては、人事異動により後藤前場長から藤原新場長に変更しています。また 4 月 13 日の竹田幼稚園につきましては、佐藤委員に変更してお願いをしていますのでそれぞれよろしくをお願いします。なお、入学式の当日は、教育委員会からの「告辞」を持参して出席していただきます。各学校の式次第に従いまして読み上げてください。告辞は後ほどお渡しするようにしていますのでよろしくをお願いします。以上です。
志賀教育長	ただいまの説明に質疑等ありませんか。 協議事項については、よろしいでしょうか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	次に連絡事項です。初めに、「4 月の幼稚園、小学校、中学校の行事予定表」に

については、学校教育課長、「教育委員会関係日程表、今後の主な予定」については、教育総務課長説明をお願いします。

渡部学校教育課長

まずは学校の行事についてです。8日が始業式。9日が中学校の入学式。10日が小学校の入学式。13日が幼稚園の入園式となっております。10日、荻小が荻町で行われる水恩祭の方に参加をいたします。13日、避難訓練が竹田中、緑ヶ丘中で行われます。同じく避難訓練が、22日に竹田幼稚園でも、計画をされているところです。14日です。遠足いわゆるお見知り遠足です。竹田中、竹田南部分中、遠足だけ先に見ます。17日、小学校全部と、幼稚園です。28日に緑ヶ丘中が予定されております。15日、交通安全教室が祖峰小、16日が南部幼稚園、20日が竹田幼稚園、22日が白丹小で交通安全教室が行われます。特に、自転車運転については、法律も変わりましたので、十分に学習が行われるかなと思っております。23日、竹田中1年生が宿泊研修を行います。すいません。学力調査の部分が抜けておりましたので、ご紹介いたします。竹田市の学力調査が16日。同じく16日に、大分県の学力調査も行われます。次に、全国ですが、今回、英語がタブレットを使ってタブレットに向かって話す、聞くのテストもありますので、分かれております。20日に英語の全国調査、23日に、他の教科の全国調査となっております。

廣瀬教育総務課長

続きまして3ページ、教育委員会関係日程です。4月3日、教育委員会第4回定例会、里見奨学会創立70周年記念式典。6日、久住地域自治会長会あいさつ。8日、直入地域自治会長会あいさつ、城原地区自治会長会あいさつ。9日久住高原農業高校入学式。13日、竹田支援学校入学式。14日、第2回校長・所長会議。20日、令和8年度第1回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議、学校事務担当者説明会。28日、竹田市スポーツ協会評議委員会。5月7日、教育委員会第5回定例会
1ページのほうに戻っていただきまして、今後の主な予定です。教育委員会第5回定例会は、5月7日（木）15時から、同じく教育委員会第6回定例会は、6月5日（金）15時から、本庁2階庁議室で開催します。以上です。

志賀教育長

質疑等はありませんか。
連絡事項についてよろしいでしょうか。

委員

（「はい。」の声）

志賀教育長

それでは、各課から報告事項があればお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

廣瀬教育総務課長

教育総務課からです。学校統合について報告します。白丹小学校と久住小学校の統合につきましては、3月定例会で条例改正案を議決いただきましたので令和9年4月統合が正式に決定しました。また、城原小学校につきましては、3月13日に開催された城原小学校統合検討委員会で令和9年4月1日を目標年度として竹田小学校へ編入統合する案が全会一致で賛同されました。今後は6月定例会において条例改正案と関連補正予算案を提出する予定です。直入中学校については継続協議をお願いしています。引き続き保護者との意見交換会を実施してまいります。以上です。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

2点お願いいたします。

1点目は、竹田市学校職員の人事異動についてです。県の人事ルールにの取って、適材適所の観点で配置を行っております。定数以外に学力向上や生徒指導に関する加配を獲得することができました。しかし枠はとれても人材がいないという状況は年々顕著になってきています。特に小学校においては臨時講師の先生の確保が喫緊の課題となっております。2つの複式を持つ学校が1校増えて5校になっており、市単の先生の確保も大事になっていきます。

2点目です。タブレットの方に資料載せております。竹田市の教育ビジョンについて、ご紹介いたします。2ページめくっていただいて、カラーのところからお願いいたします。令和8年度竹田市学校教育ビジョンについてです。基本方針は、主体的に学び、未来を創造する子どもの育成ということで、重点目標を掲げながら、1年間頑張っていきたいと思っております。特に、上段右にあります、情報活用能力、AIの活用。ただし、デジタルだけではなくて、アナログにもしっかりかえって、往還いく。行ったり来たりを繰り返しながら、いいところ取りをしていく。そういう学びを深めていきたいと考えております。

緑のところです。切れ目のない校種間連携、幼保小のかけ橋をはじめ、中高小中の連携をより活発にしていきたいと思っております。また、先ほども質問もありました、英語のまち竹田を前面に押し出ししながら、英語を学ぶから英語を使う。移行していけたらと考えております。

次のページをご覧ください。今度は学力に特化した学力向上プランです。これは、下の方をご覧ください。教員が一番気をつけてもらいたいののが、1時間1時間ももちろん大事なんです、単元全部を見通した中で授業を行っていく。いわゆる単元計画を作成し、それを修正しながら次年度へとつなげていく。こういう力を先生方にも、求めていきたいと思っております。

次のページです。今度は不登校児童生徒への支援についてです。これは今まで通りの方向性は変更ございません。教育支援センターサフランの活用、そして学習については、ICTを活用して、学校ともつないだ授業の連携も考えています。また、外部の人材、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、福祉の面からも支援を厚くしていきたいと考えております。先ほど予算のときに申し上げました、竹田小学校にも登校支援ルームを、1つ作ることもできましたので、またこれも実証を兼ねて1年間支援をしていきたいと思っております。小学校の方でも効果があると思われれば、徐々に徐々に数を増やしていけたらというふうな道筋を考えております。

次のページです。今度は中央辺りをご覧ください。竹田学というふうに銘打って、地域を教材にしながら地域、現地で学ぶ、地域とともに活動する学習を展開していきたいと考えております。この中には、竹田最高プロジェクト、タケタカタローも含まれております。また、昨年登録された世界かんがい施設遺産も教材としてどんどん使っていきたいと考えております。

次のページです。幼保小の連携を含めた、竹田んスマイルブリッジプロジェクト、かけ橋ですね、これも全市的に展開をしていきたいと思っております。一番下に、持続的な展開に向けてということで、合同の研修会を企画して、小学校、幼稚園、こども園、すべての子どもに関わる教育機関に広げていきたいと考えております。そのために、国の補助金も取れておりますので、活用してい

きます。

次のページです。これは、幼保小のかけ橋にも関わることなのですが、特に小学校低学年、幼稚園については、前回の教育委員会定例会でも話題になりました、体を使って学んでいくということの科学的根拠を専門家を交えてデータを取りながら、行っていく。これを遊びの森と銘打って取り組んでいきたいと思っております。

次のページです。部活動の地域展開がいよいよ大詰めを迎えております。これまでいろんなルール、決まりを決めてきましたが、1度整理をしてみようということで、見やすくまとめております。ご覧になっておいてください。

次のページです。ICTの活用のプランについてです。本年度よりタブレットが新しくなって、タブレットの中に入るソフトの方も刷新されます。これまで使っていたものとは違うものが落札されましたので、またその活用の検証を含めて、頑張っていきたいと思っております。

最後です。働き方改革については、この前もご紹介した新規の部分で、テストの自動再建システムの試験導入と校務支援システム、文書の回覧に結構今時間がかかっておりますので、ここを効率的に見直していきたいと思います。

最後に先ほど言った、単元計画等をうまく使いながら、来年楽をすることも考えて仕事をしてもらいたいと、本当、小さなことですが、こういうことからやっていきたいと思っています。ちなみに、夏季休業中継続の四角の部分にありますが、夏季休業中8月の10日、12、13、14を、もう閉庁日として決めましたので、連続して、土日祝日含めて、最大9連休ということで、本当にリフレッシュして、また教育に臨んでもらいたいという思いを持っております。以上です。

志賀教育長

橋本社会教育課長。

橋本社会教育課長

社会教育課から3点報告いたします

4月25日(土)第33回B&G直入カップバレーボール大会を竹田市直入B&G海洋センター体育館で開催します。主催は、竹田市スポーツ協会・竹田市・竹田市教育委員会・B&G財団です。現在、市内外の中学校やクラブチームに参加を依頼しているところです。

5月9日(土)・10日(日)に第60回九州女子ソフトボール選手権大会が竹田市総合運動公園竹田丸福スタジアムを主会場に開催されます。前日の5月8日(金)17時から、開会式を竹田市総合文化ホール グランツたけた廉太郎ホールで行います。後日、案内文書をお送りしますので教育委員の皆さんもご出席をお願いします。

3点目として、九州大会出場報告についてです。3月16日に緑ヶ丘中学校2年の高橋ほたるさんと、直入中学校2年の阿南芽衣さんが九州大会の出場報告に来られました。3月20日から沖縄県那覇市及び豊見城市で開催された、京王観光カップ第43回九州中学校バレーボール選抜優勝大会に、所属するVigore大分から出場しました。以上です。

志賀教育長

真田文化財課長。

真田文化財課長

はい。文化財課からは、岡城に関連してご報告したいと思います。

まず、皆さんのお手元に、ピンク色の御城印を、お配りしております。今まで白

いやつ黒いきり絵のやつ、秋バージョン、今回は桜、春バージョンということで新たなものを作っておりますので、宣伝をお願いしたいと思います。
それと、明日開催する予定になっております岡城桜まつりについてですけども、規模を縮小しての開催ということで、残念ながら、50周年を迎える大名行列については中止。甲冑についても中止。鉄砲隊と、騎馬の早がけのみ、午後から開催するというようになっております。ご報告いたします。以上です。

志賀教育長

櫛浦歴史文化館長。

櫛浦歴史文化館長

お手元に現在開催中の長谷川絢作品展の図録と4月11日から開催する企画展のチラシをお配りしております。長谷川絢さんの作品展については、前回ご案内しましたので、黄色いチラシの方をご覧ください。「甲冑と武具―竹田に残る武士の装い」と題した企画展を4月11日から6月14日まで、特別展示室ちくでん館で開催いたします。本展では、中川神社に残された甲冑を展示するとともに中川家臣の「熊田家騎馬図」等、甲冑姿の武士が描かれた軸や甲冑着用の実用書、用具の説明書等も展示しますので是非ご覧ください。また、会期中は、「端午の節句」に合わせた子ども向けの段ボール甲冑の着付け体験や「こいのぼりポンチョ作り」などのワークショップも開催する予定です。以上です。

志賀教育長

藤原給食調理場長。

藤原給食調理場長

調理場です。久住調理場と竹田の調理場が統合した関係で、現在、全体的に調整をしているところです。来週の4月6日、7日に、白丹小学校、久住小学校、都野小学校に配送車と私が入りまして、ルートの確認等をする予定にしております。実際に給食が始まるのは4月8日からなのですが、4月8日は白丹小学校、4月9日は久住小学校、4月13日は都野小学校に、場長の私と、栄養教諭の森先生が子どもたちの様子、食事の量とかは問題ないか、あと時間等の確認をするような予定にしております。以上です。

志賀教育長

図書館はありますか。教育総務課長

廣瀬教育総務課長

図書館からは特にありません。

志賀教育長

それでは、質問、ご意見ご質問等ありませんか。
吉野委員。

吉野委員

タブレットのことで質問です。新しくなるということとソフトも刷新されたということなんですけど、今現在はどのような状況で、子どもたちはこれからどのような動きになるのか、先生方がどのような準備が必要なのか。教えてください。

志賀教育長

渡部学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい。今、新しいタブレットは学校に配布をしておりますが、まだ動かせる状況ではありません。今、教育委員会が一番ちょっと、議論しているというか、懸念しているのが、ネットへの繋ぎ方をどこまで、許可をするのか規制をするのかということなんです。ただ、規制をしてしまうと、先ほどの全国調査の英語な

んかが、もしもフィルターに引っかかってできないパターンも、あるだろうということで非常に今難しい判断を迫られているところです。その辺は、学校とも相談しながらやっていきますが、新年度テストのときにはもう新しいタブレットが必要になってきますので、それまでには十分整えて、子どもたちに使えるようにしていきたいと思います。基本自分としては、持ち帰りをさせる。活用させるタブレットでありたいなと思っております。

志賀教育長

よろしいでしょうか。
吉野委員。

吉野委員

よく使うソフトが変わっているというのはどれのことですか。

志賀教育長

学校教育課長。

渡部学校教育課長

eライブラリー、ドリル学習の部分が、会社が変わります。

志賀教育長

よろしいでしょうか。

吉野委員

はい。

志賀教育長

他にございませんか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

ないようですので、最後に、教育委員からご意見、感想等があればいただきたいと思います。岡委員からお願いします。

岡委員

はい。私の方からは、大きく3点です。1点目は先ほどの学校教育ビジョンなんですが、これまで良い取り組みではありつつも、単発に見えがちだったものが、全市的な取り組みにうまく有機的に繋がれてきたなという実感があって、すごくわくわくする印象を持っています。

2点目は先ほど予算のところ質問したオンライン英会話教室なんですけど、私の娘も実は参加させていただきまして、私も少し、うちの方で様子を見させてもらいました。講師の先生は日本人の方で、参加した生徒によく気配りしてくれたとは思いますが、可能であれば、参加した生徒の感想なんかも聞いて次に反映させることも大切かと思っています。実際、Zoomで複数人が同時に参加するので、どうしても間延びしてしまうことが否めなくて、やっぱり英会話力向上や費用対効果という点で、もう少し検討を業者の方としていただけると良いのかなという印象を持ちました。

それともう1点です。先ほどの竹田市の教育ビジョンの中で、「英語のまち竹田」というのを謳われていますけど、そのビジョンの対象を学生から成人へ範囲を広げてみてはどうかということを思っています。これは生涯学習の竹田市民教養大学の一環になるかもしれませんが、いわゆる大人向けの外国語教室を提案します。講師が教室で授業形式で教えるスタイルもいいんですけど、今、AIによるアプリなんかすごく充実しているので、それを使ってどう学ぶかという学び方を学ぶ講座はどうかと考えます。そうすると、講座の時だけじゃなくて

自宅でも継続して取り組みますし、ネイティブの方とコミュニケーション場を設けたり、講座の最終目標として、例えば岡城の観光を、外国の方に、外国人目線を意識して少しやってみるとかいうのを掲げるとか、要は参加する本人の自己満足に終わらない広がりというんでしょうか、竹田市に資するような実践を含んだ取り組みも面白いかなと思っています。そうすると若い方の参加も促せますし、受講者の固定化からも脱却できるでしょうし、英語のまち竹田というコンセプトに合致しているのかなと思います。来年度の予算取りも含めて、何か新しいそういう取り組みを、ひとつご検討いただけるといいかなと感じました。以上です。

志賀教育長

佐藤委員をお願いします。

佐藤委員

はい。先ほど、教育総務課長からもありましたが、3月13日の城原小学校の統合検討委員会に傍聴させていただきました。統合検討委員会の前段で、PTAの皆さん、保護者の方々と話し合っ、その場でも全会一致で編入統合ということが決まりました。統合検討委員会の中でも、全会一致で決まったと、地元としては寂しいことではあるんですけども、あと1年だから適当に終わるんじゃないくて、もうきちっと最後本当に大花火を上げるような感じで、締めくくりができればいいかなと思っています。また、子どもたちが、1年後、竹田小学校にすぐ馴染めるように、例えば交流所行ですとか、そういう面も充実をさせていただければいいのかなというふうに思っております。

それと、ご承知の通り、4月1日から、自転車の青切符制度が導入されました。対象は16歳からなんですけれども、やっぱり小学校、中学校ぐらいのときから、ちゃんとかしたら悪いんだよということを教えた方が16歳になって、高校に上がって自転車通学をする子もいるでしょうし、また行動範囲も広がりますので自転車で、プライベートで出かけるようなことがあっても、要はや違反者を出さないような教育を、義務教育のときからしていければいいのかなというふうに感じました。

それともう1点、竹田市の教育ビジョンの中で、切れ目のない校種間連携ということで、幼保小のかけ橋プログラムだったり、中高の連携、小中の連携。先日高校の学校運営協議会の中でも、やっぱり地元の小中学校との連携は非常に大事なんだというふうな話をあったところです。ぜひ、各学校各中学校、竹田高校の体験セミナーに多くの方が参加していただけるように、アナウンスを強めていただけるといいのかなというふうに思っております。私から以上です。

志賀教育長

進委員をお願いします。

進委員

はい。私からは2点ほど、岡委員と一緒に私も竹田市の教育ビジョンとても興味深く、拝見させていただいて、本当わくわくしました。この中で、宿題のオンライン提出というのが出てきたんですが、せんだって運営協議会で、家庭学習への取り組みがなかなかうまくいかなかったりだとか、提出物がなかなかそろわないっていうことが、悩みだっというふうなお話もあったので、オンライン提出で、提出物がうまく出せるようになるというのかなと思う反面、今年息子が就職したんですが、まだまだ就職先に紙で出す書類というのがたくさんあるんだなあというのを見ていて思ってますね、いろいろ書いて出すもの。その期限が、説明会の日までだとか、最初の勤務日までだとか、いろいろあって、そう

いう文書を見て、期限を見て、その日までに出すという力というのも、今後、生きていく上で大事なのかなあというのを感じたので、アナログ、さっき出てきたアナログもまだまだ大事なことなのかなというのを感じたところです。それと、先ほど真田課長からあった、岡城の話なんですけど、折に触れて岡城の来訪者を伺ってはいたんですが、ピーク時の15万人から3分の1になったというのを今日ちょっと、正直ちょっと衝撃を受けて、何とかしなければと思いました。中九州が、完成するのが待ち遠しいんですが、それができてしまうと竹田市を素通りする方も増えると思うので、竹田市で降りてもらって、岡城を見てもらうためには先ほどおっしゃっていた、プロモーションとかもとっても大事だと思うので、岡城は本当にいいところだと私は思っているの、頑張りたいと思います。以上です。

志賀教育長

吉野委員お願いします。

吉野委員

はい。竹田市教育ビジョンの中の、たけたんスマイルブリッジプロジェクトのところとかなんですけど、幼保小かけ橋プログラムとかみたいに何年か経ってきて、定着しつつあるものの中にも、学校や幼稚園、こども園、小学校の中に温度差というか、参加度の違いとか差があったりしたときに、もったいないなと思っているんですけど、その辺がどうなのかと気になりながらですね、せっきくの本当に大事なプログラムだと思うので、また竹田市独自のものということであれば、竹田市外から来られた先生なんか、本当によく説明していただいて、全体で力を合わせて盛り上げていって欲しいなというふうに日々思っております。半分ちょっと私事になるんですけど、直入小学校の中で、その直入小校区の児童クラブが新しくなりました。4月1日から前されてた直入こども園の中です児童クラブから、直入小学校の中で、新しく児童クラブが始まって、私も関わっているんですけど、改めて春休み中に、1日中小学生と過ごしてみると、何と時間の長いことで、その中で、言い換えれば、学ぶチャンス、いろんなことを経験するチャンス、チャンスだらけとかいうか、そこにどう働きかけるかという環境を整えてあげるかによってその成長の度合いに影響を及ぼす可能性大だなというふう実感しています。学校の先生方が特に協力的にいろんなアドバイスをしていただいたり、声かけしてくださるので、今安心してスタートしたところなんですけども、これまで準備期間の間に、他の児童クラブの方と情報交換をする機会がありましたけど、やっぱり運営が厳しいところ、人手が足りないところ、会計の予算的なところもそれぞれクラブごとに本当に差があつてですね、皆さんお悩みがそれぞれあるようでしたので、でもその、学校との協力体制ができていれば、もっとこう改善できるところもあるのかなというところも感じたりしています。どうぞ学校の先生方にも関心を持っていただけたらなというふうに思っています。何をしたいかというわけでもないんですけど、今ここにある、教育ビジョンとかもこういうものも先生が、もう竹田市を挙げてこれだけのこと、もう本当に多岐に渡っているいろんなことに力を注いでくれているというのを、やっぱり学童保育なんかに関わる人とかにも、もっとこう広まったらいいなというふうに思っています。そこに何か共感できるものがあつたら自分も子どもに働きかけるときに、そういう視点が少しでも芽生えたら、もうそれだけでも大分違うのかなというふうに思っています。本当にクラブの中には、数時間、安全に過ごすことだけで精一杯というところもちよつとあると思うんですけど、どうか、それ以前にも要望あつた

かもしれないんですけども、引き続き先生方にも見守っていただけたらなというふうに思いました。以上です。

志賀教育長

後でまとめますけど、質問の、1つがスマイルブリッジ、温度差はどうかというところですね、新しい先生の説明も含めて。それからもう1つですね、質問ではなかったんですけど、岡城が15万から5万に入場者が減ったと。その辺の原因というか考察というか、後でちょっと、言ってもらおうかなと思っています。

ではまずスマイルブリッジに関して、学校教育課長。

渡部学校教育課長

はい、ありがとうございます。何をやるにしても温度差というのは、どうしても出てくるものかなとは思っているんですが、かけ橋を含めて、スマイルブリッジプロジェクトもそうなんですが、まずモデル校が、南部小、南部幼稚園、竹田小、竹田幼稚園でありますので、その辺との温度を比べると確かにあると思います。ただし、今年は予算も付けましたが、専門家をどんどん派遣していきますので、いや応なしにどんどんはまっていく学校も増えていくだろうなと思います。独自に都野小学校はさらにプラスして、1歩先を進んだ取り組みもしておりますので、そのように、学校独自で、これもやってみたいという思いが出てくれば、素晴らしいなと思っておりますのでそういう取り組みを広めていきたいと思っております。

志賀教育長

文化財課長。

真田文化財課長

はい。幾つか要因があると考えているんですけど、これまで入城者が一番多かったのは、平成11年の岡城の大手門を復元したときで、約15万人。その当時は通常でも年間12万から13万ぐらいずっと来ていました。大きな変化が起きたのが、平成20年代になってから、特に24年の水害、それと28年の熊本地震。この時に、落ち幅がかなり大きく、万人単位とかで入城数が下がっています。そして、平成31年に、「最強の城」としてテレビで紹介されたときには、約2万人ほどお客さん増えたんですけども、その翌年からコロナということで、そこで一気に年間入城者数は4万人台まで下がってしまいました。コロナ後に若干の持ち直しは見られますが、現在は年間5万人前後という状況です。

10万人を超えてお客さんが来ていたころは、個人客に加えて団体旅行客が多くおとずれていました。当時、駐車場に観光バスが、連休とか、秋とかになると、入りきれないぐらい来ていたりしていたんですけど、近年はそんなに観光バスが来ません。旅行形態が変わってきており、現在は個人旅行や少人数での旅行が主になっていきますので、ターゲットを個人に絞っていかないといけないのかなと今考えております。なかなか岡城だけでは出来ないの、先ほど、中九州道の話もあったんですけど、近隣と連携して、竹田方面に人が流れてくると少しは回復していくのかなと思います。そのための、呼び水になるようなプロモーションが出来ればと考えているところです。以上です。

志賀教育長

はい。プロモーションを頑張りたいというふうに思います。以前も言ったことがありますけど、去年の九州教育長会議では「竹田といえば、竹田城で有名ですね」とか、「竹田の子守唄のところですね」とか。よその教育長それぐらいの認識なんで勉強不足だなとかそういうふうに思ったんですけども、認知度を高

めていきたいというふうに思っています。
それからあと質問ではなかったんですが、要望、ご意見としてお聞きしたいと
思っているんですけど、英語教室の検証であるとか、それから、大人向けの、市
民向けの英語の講座。それから、小中高の連携ですね、特に竹田高校の体験で
あるとか、自転車教室。それから、宿題のオンライン提出。それから、児童クラ
ブはチャンスだらけだと、そういうお話もありましたので研究していきたいと
いうふうに思っています。そういったことで何か、答えがある課はありますか。
いいでしょうか。
では、皆さんから出された意見、ご要望として承りたいというふうに思ってお
ります。
その他、ご意見等はないでしょうか。
では、以上で第4回定例会を閉会します。
ありがとうございました

(閉会)

[閉会時刻:午後4時30分]